

平成28年度社会福祉法人幸清会認知症介護実践研修（実践者研修）事業実施要綱

1 目的

高齢者介護実務者に対し、認知症高齢者がその有する能力に応じて自立した生活を営むことを支援できるよう、福祉専門職として、どのようなサービス形態にあっても、介護現場で実践できる専門職員を養成する研修を実施することにより、認知症介護の知識や技術を修得し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的とする。

具体的には①介護専門職として自身の認知症介護に関する理念を明確にして、具体的に自分の言葉として構築でき、②認知症介護の知識を技術の振り返りに基づく新しい介護技術の習得、③その新しい認知症介護の知識と技術を実践に発揮できる力を習得することである。

また、研修の機会を研修生のストレス緩和の場、情報交換、ネットワークづくりの場とすることも研修のねらいとするものである。

2 研修の対象者

- 1) 認知症介護業務に従事する介護職員等で、身体介護に関する基本的知識・技術を修得し、社会福祉施設及び介護保険施設・事業所において認知症介護業務に概ね2年程度従事した経験を有する者。
- 2) 居宅介護支援事業所等で居宅サービス計画等の作成に従事する介護支援専門員であって認知症の利用者に係る計画等作成の経験を概ね2年程度有する者。

3 研修の内容

研修受講者は、次の研修を受けるものとし、研修カリキュラムは別紙1のとおりとする。認知症介護の理念、知識及び技術を修得するための実践的研修とする。

研修は、講義・演習4日間、実習報告とまとめ1日、介護保険施設、認知症対応型共同生活介護事業所及び通所介護事業所等における外部実習1日、職場実習2週間とする。

定員は、洞爺湖会場30名/回、札幌会場60名/回とする。

4 研修の実施場所

本年度の予定6回のうち4回は、下記会場において開催する。その他2回は札幌市にて開催する。

洞爺湖会場 : 虻田郡洞爺湖町川東 80-16

「地域密着型特別養護老人ホーム 財田の杜 2階研修室」

TEL : 0142-82-4710

札幌会場 : 札幌市中央区北2条西7丁目

「北海道立道民活動センター かでる2.7 730研修室」

TEL : 011-204-5100

5 開催日程

本研修は、別表2のとおりで開催する。

6 受講の申込

受講の申込にあたっては、所属の施設・事業所の代表者から、当法人理事長に「受講依頼書」及び「受講申込書」を提出するものとする。

7 受講者の決定

当法人理事長は、受講要件を審査の上、受講者を決定し、所属する施設・事業所の代表者に通知する。なお、申込が受講枠を超える場合は、受講できないことがある。

8 修了証の交付

当法人理事長は研修修了者に対し、修了証書（別記様式）を交付するものとする。また、研修修了者について、修了証書番号、修了年月日、氏名、生年月日等必要事項を記載した名簿を作成し、管理する。

9 費用

受講料は25,000円とする。

他施設実習に要する費用は、受講料とは別に3,000円を謝礼として実習先に支払うものとする。

洞爺湖会場での開催の際に宿泊する場合は、1泊2,500円、個室は3,000円及び食事代を別途負担するものとする。

10 実習先施設

本研修に係る実習先は別表3のとおりとする。但し、受講生の勤務先事業所も実習先施設として承諾を受け、実習先とすることができる。また、受講生の勤務地に考慮し実習先を当法人において選定し、選定先の承諾を受けた場合、実習先とすることができる。

11 講師

本研修の講師は、認知症介護指導者等定められた講師が務めるものとし、別表4の講師名簿のとおりとする。

12 募集案内

本研修の募集は、当法人ホームページに募集要項を掲載する他、文書及び広告により各事業所へ通知する。

別表 1

認知症介護実践研修（実践者研修時間割）

区 分	講 義 名 ・ 演 習	時 間
	研修のねらい	15分
講義	認知症の人の権利擁護	120分
講義	医学的理解	90分
講義	心理的理解	60分
講義・演習	生活障害としての認知症の理解	180分
演習	研修の自己課題の設定	30分
講義	認知症の人の理解に基づく生活のアセスメントと支援	140分
演習	事例演習	150分
講義	生活の質の保証とリスクマネジメント	120分
演習	実習課題設定	100分
講義	コミュニケーションの本質と方法	90分
演習	援助関係を築く演習	90分
演習	新しい認知症介護の理念の構築	180分
講義	家族の理解・高齢者との理解	60分
講義	若年性認知症の人の支援	50分
講義	人的環境と住環境を考える	90分
演習	生活環境を考える	90分
講義	地域社会環境を考える	90分
講義・演習	生活支援の方法	90分
	振り返り	180分

計 2, 015分（33時間35分）

※講義名等は予定であり、変更もありうる。

介護保険施設・認知症高齢者グループホーム・通所介護事業所等 における外部実習	1日
職場実習	2週間
実習結果報告まとめ	1日

別表 2

認知症介護実践研修（実践者研修）開催日程

第 1 回	洞爺湖会場	講義・演習 平成 28 年 4 月 12 日（火）～ 4 月 15 日（金） 実習報告 平成 28 年 5 月 18 日（水）
第 2 回	洞爺湖会場	講義・演習 平成 28 年 5 月 31 日（火）～ 6 月 3 日（金） 実習報告 平成 28 年 7 月 13 日（水）
第 3 回	洞爺湖会場	講義・演習 平成 28 年 7 月 26 日（火）～ 7 月 29 日（金） 実習報告 平成 28 年 8 月 31 日（水）
第 4 回	札幌会場	講義・演習 平成 28 年 9 月 13 日（火）～ 9 月 16 日（金） 実習報告 平成 28 年 10 月 18 日（火）
第 5 回	札幌会場	講義・演習 平成 28 年 11 月 1 日（火）～ 11 月 4 日（金） 実習報告 平成 28 年 12 月 14 日（水）
第 6 回	洞爺湖会場	講義・演習 平成 29 年 2 月 21 日（火）～ 2 月 24 日（金） 実習報告 平成 29 年 3 月 29 日（水）

別表 4

講 師 名 簿

認知症介護実践者研修 (洞爺湖会場)	認知症介護実践者研修 (札幌会場)
大久保 幸積 (認知症介護指導者)	大久保 幸積 (認知症介護指導者)
三瓶 徹 (認知症介護指導者)	三瓶 徹 (認知症介護指導者)
瀬戸 雅嗣 (認知症介護指導者)	瀬戸 雅嗣 (認知症介護指導者)
武田 純子 (認知症介護指導者)	武田 純子 (認知症介護指導者)
保坂 昌知 (認知症介護指導者)	保坂 昌知 (認知症介護指導者)
吉岡 康子 (認知症介護指導者)	吉岡 康子 (認知症介護指導者)
林崎 光弘 (認知症介護指導者)	林崎 光弘 (認知症介護指導者)
浜本 伸子 (認知症介護指導者)	浜本 伸子 (認知症介護指導者)
菊地 伸 (認知症介護指導者)	菊地 伸 (認知症介護指導者)
南 洋子 (認知症介護指導者)	南 洋子 (認知症介護指導者)
宮崎 直人 (認知症介護指導者)	宮崎 直人 (認知症介護指導者)
住友 幸子 (認知症介護指導者)	住友 幸子 (認知症介護指導者)
姉崎 重延 (認知症介護指導者)	姉崎 重延 (認知症介護指導者)
加藤 和也 (認知症介護指導者)	加藤 和也 (認知症介護指導者)
西田 夕子 (認知症介護指導者)	西田 夕子 (認知症介護指導者)
釜谷 薫 (認知症介護指導者)	釜谷 薫 (認知症介護指導者)
近江谷伸一郎 (認知症介護指導者)	近江谷伸一郎 (認知症介護指導者)
若林 洋子 (認知症介護指導者)	若林 洋子 (認知症介護指導者)
長谷川 千明 (認知症介護指導者)	長谷川 千明 (認知症介護指導者)
清水 修一 (認知症介護指導者)	清水 修一 (認知症介護指導者)
青山 由美子 (認知症介護指導者)	青山 由美子 (認知症介護指導者)
波潟 幸敏 (認知症介護指導者)	波潟 幸敏 (認知症介護指導者)
吉田 恵 (認知症介護指導者)	吉田 恵 (認知症介護指導者)
※半田 洋 (医 師)	干場 有理子 (認知症介護指導者)
※西村 敏子 (北海道認知症の人を支える家族の会)	稲邊 みき (認知症介護指導者)
	太田 晶 (認知症介護指導者)
	※貝嶋 光信 (医 師)
	※西村 敏子 (北海道認知症の人を支える家族の会)

※は、指導者以外の外部講師

第 号

修 了 証 書

氏 名

生年月日 年 月 日

あなたは、当法人が北海道知事及び札幌市長の指定を受けて行う厚生労働省の定める認知症介護実践研修（実践者研修）を修了したことを証します。

平成 年 月 日

社 会 福 祉 法 人 幸 清 会
理 事 長 大 久 保 幸 積